

## 中3国語 出題のねらいと対策

### 一 漢字の読み書き 76.9%

**ねらい**：漢字を正確に読み、書けるようにする。

**分析と対策**：「危」と「厄」，「鈍」と「鋭」のように似た形の漢字と読み間違えないように注意しましょう。また、漢字の書きは、点の有無や横棒あるいは縦棒の本数など、正しい漢字の形が問われています。繰り返し書いて覚えることが大切です。

### 二 文学的文章読解 69.3%

**ねらい**：登場人物や場面の状況を正しく把握し、それぞれの関係や心情の変化を読み取る。

**分析と対策**：夏休みに主人公と姉が訪れる母の在所は、いとこたちも集まる、子供たちの天国です。しかし、今年は最近母親を亡くしたいところがおり、主人公と姉は母からその子たちの前では母に甘えてはいけないと忠告されます。自転車に乗れない主人公は、いどこに乗り方を教えてもらいますが、何気なく言った言葉が彼女の「母」を思い出させます。問4では、姉の反応が問われています。問5は、リーダーのいどこが気づいた主人公の欠点の内容を問う問題。問6では、母親を思い出したいどこが悲しみを必死にこらえて話す会話文の読み方を問います。問7は何気なく発した言葉がいとこを悲しい目に合わせてしまったことに気づいた主人公の気持ちを読み取ります。

### 三 説明的文章読解 50.3%

**ねらい**：日本語の曖昧あいまいな表現について、聞き手や読み手のことを考え、

どうすれば正確に伝わるかを説いた文章から、筆者の説明する曖昧さをなくす表現のしかたを理解する。

**分析と対策**：人間にとって曖昧さは心をなごませますが、コミュニケーションにおいて表現の曖昧さは相手を悩ませます。筆者は、同音異義語などさまざまな曖昧な表現の例を挙げて説明します。問2では、同音異義語の場合の、相手に与える曖昧さが問われます。問3では「大きな象」「小さな蟻」の表現の形容部分の意味のとり方に曖昧さが生じる理由を問います。問4は曖昧さをなくすための方法についての問いです。問5は修飾語がどの語に係るかで意味が異なる例についての問いです。問7では筆者の主張としてコミュニケーションを円滑に運ぶためにどう考えたらよいかが問われます。細部まで丁寧に読み、内容を理解しましょう。

### 四 古文読解 46.9%

**ねらい**：説話「宇治拾遺物語」からの出題。信仰深い尼の行動を読み取る。

**分析と対策**：問4の生徒の会話から、この文章の大まかな内容をつかみます。尼は地蔵への深い信仰心により、地蔵を見ることができ、その後極楽往生を遂げます。深い信仰心があれば、仏にも会えるだろうと筆者は語ります。

### 五 作文 54.0%

**ねらい**：テーマを選び、具体的に書く。

**分析と対策**：自分が何をしたいか、具体的なことを考えて書きましょう。

全体の平均点は59.9点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。